

第5期 pES club シナリオ 2

平成 17 年 3 月 12 日
横浜市立市民病院 薬剤部
五十嵐 俊
虎の門病院分院 内科総合診療科
南郷 栄秀
<http://spell.umin.jp>

あなたは名羅手部総合病院薬剤部の 5 年目薬剤師です。
内科外来の診察を終えた飯和佐布里さん（68 歳女性）が処方箋を持って薬局にやってきました。処方箋には、

処方 1		
フルイトラン (2mg)	0.5 錠	
プレラン (0.5mg)	1 錠	
	分 1 朝食後,	30 日分
処方 2		
ユベラ N ソフトカプセル (200mg)	3 カプセル	
	分 3 毎食後	30 日分

と書かれていました。調剤を終えたあなたは、飯和さんを窓口に呼びました。

あなた 「飯和さんですね。血压のお薬が 2 種類、ビタミン剤が 1 種類ですね。血压のお薬は、フルイトランを半分とプレランを 1 錠、どちらも朝食後に飲んでください。ビタミン剤はユベラで、こちらは毎食後に 1 カプセルずつですね。何かご質問はありますか？」

飯和さん 「いえ別に。．．ひと月分あるわよね？」

あなた 「はい、30 日分出ています。薬の説明書も入れておきますね」

飯和さん 「ありがとう」

あなた 「ユベラは今回から飲み始めることになったんですね」

飯和さん 「そうなのよ。友達が血液がサラサラになる！って言うから、先生にお願いしたの。先生は最後まで、飲んでもしょうがないって言うのだけれどね。私がどうしてもって頼んだら、渋々出してくれたわよ」

あなた 「そうですか。でも、先生がいらないうて言うのによくもらえましたね」

飯和さん 「そうよ。がんばったんだから。でも、これで長生きできるわ。」

あなた 「長生きですか？」

飯和さん 「そうよ、ビタミンは不足がちになりやすいし、健康に良いから長生きするためには摂った方が良いのよ。それになんたって血液がサラサラになるんだから。あなたも少し勉強しなさい。じゃ、またね」

意気揚々と帰っていく飯和さんの後ろ姿を見ながら、ビタミン剤で本当に長生きできるのか、あなたは疑問に思いました。そこで、勉強不足を指摘された事にへこみつつ、図書館で文献を調べてみることにしました。

第5期 pES club シナリオ 2 (追加シナリオ)

平成 17 年 3 月 12 日

横浜市立市民病院 薬剤部

五十嵐 俊

虎の門病院分院 内科総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

飯和さんは 3 年前に初めて受けた健康診断で高血圧を指摘され、当初は 170/100mmHg 程度でしたが、フルイトラン 1mg を開始して 145/90mmHg 程度まで下がっていました。しかし、その後再び上昇したため、5 ヶ月前からプレラン 0.5mg を開始し、現在は 140/90mmHg 程度のコントロールになっています。薬を飲み始めてから少しトイレが近くなったような気がしていますが、それ以外には副作用と思われるような症状はありません。

飯和さんは身長 152cm、体重 60kg、高血圧以外には、特に病気は指摘されていないようです。また、病院から処方された薬以外には、何も服用していないとのこと。母親は健在ですが、父親が脳梗塞で 78 歳で亡くなっています。兄が 1 人、妹が 2 人の 4 人兄弟ですが、兄と下の妹は高血圧で内服治療中です。

飯和さんは、週 3 回区民センターにあるジムに通っています。食事は塩分制限を指示されていますが、東北出身の飯和さんは漬け物や干物が大好きで、なかなか守ることができません。